

## 地域理学療法学演習

[演習] 第3学年 後期 必修 1単位

《履修上の留意事項》演習時には動きやすい服装で臨むこと。

この講義の8～10回目については、全体を4つのグループに分けローテーション方式で実際に介護予防事業等に出向いて心身機能の評価や運動指導の演習を行う。

《担当者名》○鈴木英樹 hideki-suzuki@hoku-iryu-u.ac.jp 長谷川純子 只石朋仁

### 【概要】

地域理学療法学で学んだ知識をもとに、地域理学療法実践の主分野（個別を対象とした直接的な支援・集団を対象とした直接的な支援・集団や地域を対象とした間接的支援）について総合的な理解を深める。また、介護予防事業の対象となる地域在住高齢者の運動及び生活機能に対する包括的評価や具体的な運動・動作指導を通じて地域での理学療法士の活動意義とその役割、将来展開について学修する。

### 【学修目標】

#### 【一般目標】

地域理学療法における理学療法士の具体的な取り組み内容を理解するために、評価方法及び具体的な運動指導等の方法について説明できる。

#### 【行動目標】

1. 介護予防チェックリストの内容を理解し、意義や実施の目的を説明できる。
2. 介護予防のための包括的評価の内容を理解し、高齢者の方々に対し説明し実践できる。
3. 評価結果に基づき介護予防のための運動プログラムを高齢者の方々に説明し実践できる。
4. 訪問理学療法の意義、実践内容を理解し説明できる。
5. 地域在住高齢者の日々の生活における興味関心について説明できる。
6. 地域が抱える課題について説明できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション及び地域理学療法における実践分野について	・オリエンテーション ・地域理学療法実践分野の確認	鈴木英樹
2 4	地域理学療法における具体的実践（個別に対する直接的支援）	2回目：訪問理学療法の実践、医療機関での理学療法との違い 3-4回目：ケース検討	担当教員全員
5 11	地域理学療法における具体的実践（集団に対する直接的支援）	5回目：介護予防事業の理解 6-7回目：介護予防事業における運動機能及び生活機能の評価、フィールドワークオリエンテーション 8-10回目：フィールドワーク（実際に地域の介護予防事業に参加し、事業参加者に対し心身機能の評価を実施） 11回目：フィールドワークに基づいたグループワーク	担当教員全員
12 14	地域理学療法における具体的実践（地域や集団に対する間接的支援）	12回目：地域ケア会議と地域リハ活動支援事業について 13-14回目：地域住民を対象とした間接的支援の実践（住民を対象としたオンラインサロンの実施）	担当教員全員
15	まとめ	15回の演習を振り返り、理学療法士と地域理学療法の関連性について理解を再確認	担当教員全員

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

定期試験（筆記試験） 70%

講義中の課題レポート及びグループワーク報告 30%

定期試験及び追再試験終了後、問合せがあった場合には模範解答を例示する。

### 【教科書】

鈴木英樹 編 「15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 地域理学療法学」 中山書店 2021年

**【参考書】**

島田裕之 編 「サルコペニアと運動～エビデンスと実践～」 医歯薬出版 2014年  
宮越浩一 編 「高齢者リハビリテーション実践マニュアル」 メディカルビュー 2014年  
武藤芳照 編 「転倒予防医学百科」 日本医事新報社 2008年  
武藤芳照 総監修 「ここまでできる高齢者の転倒予防」 日本看護協会出版会 2010年

**【備考】**

フィールドワークでは実際に地域に向き、高齢者の方のご協力により運動機能の評価を実施する。失礼の無いよう、そして安全に評価するとともに、測定結果に妥当性が得られるよう準備すること。

**【学修の準備】**

実技演習の際には積極的且つ真摯な態度で臨むよう心掛けること。  
初回時に地域理学療法学履修内容の確認を行う。  
8～10回目は実際に地域に向いて実施するため動きやすい服装で臨むこと。  
予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで理解しておくこと(80分)。  
復習は、教科書や配布プリントなどを活用し、学修を深めておくこと(80分)。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

(DP2)最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。

**【実務経験】**

鈴木英樹(理学療法士、専門理学療法士：生活環境支援、介護支援専門員)  
長谷川純子(理学療法士、福祉住環境コーディネーター1級)  
只石朋仁(理学療法士、専門理学療法士：生活環境支援)

**【実務経験を活かした教育内容】**

地域理学療法の実践経験を活かし、生活期における地域住民や地域に対する支援のための視点や具体的な実践方法について講義する。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している